

※一部非公開

令和三年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

(西垣通・河島茂生、『A I 倫理―人工知能は「責任」をとれるのか―』、中央公論新社、二〇一九年、二三四―二四七ページ、抜粋・一部改変)

問一 傍線部「多様な観察者の内部に、多様な世界が立ち上がるのだ」という文について、著者の論旨に沿って、六〇〇字以内で説明しなさい。

問二 A I による創作活動について、本文全体をふまえて、歴史、民俗、文学、言語の観点から一つを選び、あなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。

令和三年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

出題の意図

琉球アジア文化学科は、琉球・沖縄および日本・アジアの諸地域の言語・文学・歴史・民俗への理解を深めることを目指している。したがって、本学科の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心が要求される。問題文は、人工知能（AI）が下す判断の倫理的側面に着目しつつ、創作活動をとりあげてAIの問題を考える上で注意すべき点や可能性について論じた文章である。本出題の意図は、AIによる創作活動が近代芸術にとっては毒になる危険性がある一方、見かたをかえると、アーティストたちがAIを介して近代芸術のありさまを抜本的に変えていく可能性について述べた文章を正確に読み取り、論旨を的確に把握できるかを問うことにある。本文の内容をふまえた上で、本学科の研究分野である歴史研究・民俗研究・文学研究・言語研究の分野において、来るべきAI社会に求められる人間側の社会規範について、広く創作活動の観点から論述させることにより、受験生の理解力および独自の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力などをみることにある。